



1 単元における学習評価の進め方

単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。

評価の進め方	1	単元の目標を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ①、②については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、児童の実態、前単元までの学習状況等を踏まえる。
	2	単元の評価規準を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ③については、①、②を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。 どのような評価資料を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりする。
	3	「指導と評価の計画」を作成する	
	授業を行う		<ul style="list-style-type: none"> ③に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。
	4	観点ごとに総括する	<ul style="list-style-type: none"> ④については、集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価(A、B、C)を行う。

2 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法

小学校学習指導要領 第5学年B 生命・地球「(2)動物の誕生」を例に、次に示した学習指導要領の記述形式を踏まえて、単元の評価規準を作成する。

(A) 動物の発生や成長について、魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりする中で、卵や胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

① (ア) 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえること。

(イ) 人は、母体内で成長して生まれること。

② イ 動物の発生や成長について追究する中で、動物の発生や成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。

A: 「内容のまとめり」における学習の対象

①: 知識及び技能

②: 思考力、判断力、表現力等

第5学年の「単元の評価規準(例)」の概要

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・(ア)を理解している。 ・(イ)を理解している。 ・(A)について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(A)について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・(A)について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(A)についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・(A)について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

Point!

○主体的に学習に取り組む態度
理科の目標を踏まえて作成されている「評価の観点及びその趣旨」に示された「進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら」、「学んだことを学習や生活に生かす」を基に設定します。

【第5学年B(2)「動物の誕生」の評価規準(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえることを理解している。 ・人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 ・動物の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の発生や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・動物の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・動物の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

Point!

○評価規準に基づいた評価
設定した評価規準について、①粘り強く、他者と関りながら問題解決しようとしているか、②学びを学習や生活に生かそうとしているかを、ノートやレポート等の記述、授業中の発言、教師による行動観察等を活用することが考えられます。
また、ポートフォリオを活用することも考えられます。

3 単元の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

- ① 動物の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。【態-①】
- ② 動物の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。【態-②】

4 単元の指導計画及び評価の具体的な場面（一部）

3の評価規準に基づき、「主体的に学習に取り組む態度」の評価場面や評価方法が示されている。

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考
1	○学校ビオトープに行き、そこにいる生き物を観察する。	知		知識・技能①/【行動観察・発言分析】
2	○教室でメダカを飼育するために解決したいことについて話し合う。	思		思考・判断・表現①/【発言分析】
3	○メダカが卵を産む環境をつくるために、雌雄の見分け方について問題を見だし、資料を基にメダカの雌雄の違いを調べ、まとめる。	知		知識・技能①/【行動観察・記述分析】
4	○前時の学習を振り返り、メダカの雄と雌を選び取り、飼育用の水槽に入れる。 ○メダカを飼育するための水槽内の環境について調べ、飼育準備を整える。	態	○	主体的に学習に取り組む態度②/ 【行動観察・記述分析】 ・魚の発生について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。

(中略)

7	○前時の学習を振り返り、解決する問題を確認する。 ○予想した成長過程を振り返りながら、自分が観察している卵が、前回と比べてどのような変化をしているかについて考える。 ○自分の卵と他のグループの卵やインゲンマメの成長とを比較しながら、その特徴について観察し、記録する。	態	○	主体的に学習に取り組む態度①/ 【行動観察・記述分析】 ・魚の成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わり、自分の考えを見直ししながら、問題解決しようとしているかを評価する。
---	---	---	---	--

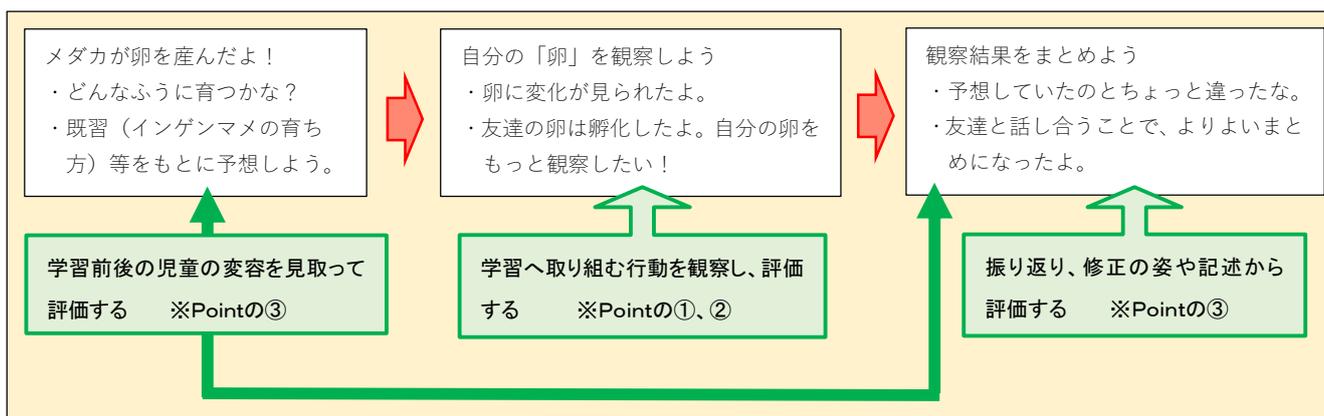
Point!

態度-①の評価に着目します
次のような児童の姿を見取りましょう
①「進んで関わろうとしている」
自分が育てているメダカや卵の様子を継続観察する中で、日々の変化に喜びを感じたり、必要な世話をしたりしながら愛情をもってメダカや卵に関わろうとしているか。
②「粘り強く解決しようとしている」
メダカの卵の様子を、実体顕微鏡等を用いて継続観察し、その変化を記録したり、友達とメダカの卵の様子と比較したりしながら、卵の成長過程の特徴をとらえようとしているか。
③「自分の考えを見直している」
メダカの卵の成長過程について、学習前や予想の段階での自分の考えや方法を振り返り、観察結果や友達との交流を基に見直そうとしているか。

行動観察や記述分析(ノートやレポートの記述)等の方法を用いて、児童の実態をしっかりつかむことが大切だね。



《実際の児童の姿で見てください》



記録の総括の時期としては、単元末、学期末、学年末等の節目が考えられるよ。評価に係る記録が複数ある場合は、次のような方法があるから参考にね。

- 評価結果の A、B、C を数値に置き換えて総括する場合
- 評価結果の A、B、C の数を基に総括する場合

その他にも、さまざまな方法が考えられるよ。

大切なことは、評定への総括の考え方や方法は、教師間で共通理解を図り、児童及び保護者に十分説明し理解を得ることだね。

